

ヤマトニュース



「笑い祭(和歌山県)」PHOTO by S.YAMAOKA

新年を迎えて 代表取締役社長 川西 勝三

2010年度 **Yamato** 研修会を開催

展示会レポート | INTERMEASURE 2010
Pack Expo 2010

製品情報 | 多機能形デジタル台はかり DP-5600シリーズ
活用事例 不足数量表示機能 DP-5602
新商品データウェイオメガシリーズ **Dataweigh Ω**

トピックス | Yamato Scale Benelux(ベネルクス)設立

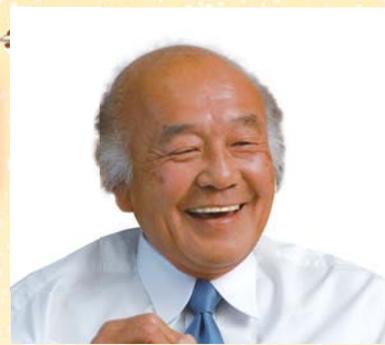
2011.1

No. **403**

「新年を迎えて」

あけましておめでとうございます。

代表取締役社長
川西 勝三



昨年の日本経済はプラス成長に転じたものの、世界的不況の影響を脱することができず、大和製衡にとっても、景気停滞の中での急激な円高と恒常的なデフレに直面した非常に厳しい一年でした。正に景気にビジネスが翻弄された実態がそこにあるわけですが、当社が景気に左右されない企業になるために今為すべきことは、経営の刷新を大胆に進めることの一言に尽きます。大和製衡が考える経営の刷新とは以下の4点です。

第一の視点は「事業創造」です。一般に成熟市場と呼ばれる業界においては、「業界における技術は極められている」という既成概念があり、事業構造の変化を抑えています。「ビジネス企画」という取り組みによって、社会や業界の既成概念を見つけ問題点を明らかにした上で、技術企画で具体的な解決策を明確にしていきます。そして絶対的なシェアを変える競争力を明確にし、歴史的に低下した市場開発力を高め、特許で競争力を担保します。特許がなければ、良い技術はすぐに真似され、UPしたシェアは守られません。そして販売企画においては、既存顧客に既存技術を販売しているだけでは、企業は存続しないことを再認識しなければなりません。組織を挙げて「ビジネス企画」に取り組み、顧客にとっての経済的価値を創造し、それが生み出す新たなビジネスチャンスを的確に捕捉して参ります。「既成概念の問題点を見つけることが事業を拡大する」・・・これが大和製衡の新しい事業コンセプトです。

第二の視点は「国際化」です。当社が飛躍する為には、商品における現状の偏った国際化から、全世界を相手に全事業展開を行う国際企業として、三事業部毎に独自技術を柱とした高機能計量器メーカーに転換していきます。具体的方針として、3年後にまずは「定量計量分野」で世界ナンバーワンを目指します。商品群としては、小規模工場にはDP(電子式台秤)、卓上形台秤(UDS)、卓上データウェイ(TDW)とその組み合わせ、食品業界はデータウェイ、そして重袋市場には次世代形パッカースケールで対応します。これらを発火点として、全商品に対して市場の独占を目指します。定量計量市場でこれだけの商品バリエーションが提供できるのは世界中で

大和製衡だけです。「定量計量分野」に加えて「動的計量分野」「試験機事業分野」も充実させ、3事業分野においてグローバル展開を行います。このような世界レベルのニーズに応え事業を適応させていくことは、必ず国内におけるお客様からのニーズにもお応えし満足を高めて頂けるものと確信しています。

第三の視点は「マネジメント」です。前述のようなビジネス企画を成功させるためには、マネジメント強化は大変重要です。そして必要なことは、対象マーケットを常に開発し、攻める体質への転換マネジメントを実行することです。新しい技術企画を既存顧客にのみ攻める従来体質を改め、全社一体となって市場開発、つまり顧客毎の訪問レベルまで展開していくことが最終の販売企画と考えます。

第四の視点は「製品とサービスの結合」です。先進国・新興国を問わず、世界中のあらゆる市場で「安全・安心」への関心が非常に高まっています。特に食品業界においてはその傾向は顕著であり、管理された状態での生産設備の維持は、重要な経営課題となっています。現在のアメリカ、欧州、中国に位置する当社の海外子会社を拠点として、グローバルな視点で更なるサービスネットワークを構築し、製品とサービスの結合による多層的な利益を確保し、景気に左右されない企業への脱皮をより確実なものにします。ビジネス企画はユーザーにとって魅力的な技術であるため、これを種としてサービスビジネスを再構築するサービスのビジネス企画を完成させます。

最後になりましたが、私の座右の銘は「狙った獲物は外さない」です。これは、気概とか、意思の強さを意味するものではなく、「事を始める前に効果を確実にするための要件を整える」という成功するための仕組み作りを示しています。これからも大和製衡は、社長である自分自身が機関車役となり、後生のためにビジネスを創り出し、新たな飛躍に向けて全従業員一丸となって邁進して参りますので、本年も一層政策に対するご理解やご参画ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



2010年度

Yamato 研修会を開催

2010年度 Yamato 研修会を、全国の有力販売店様34社のご参加を賜り、
9月1日に兵庫県神戸市の北野クラブ Solaにて開催いたしました。



開会宣言・社員紹介の後、川西社長より2009年度
売上げ拡大にご尽力頂いた販売店様に心よりの感謝
を含め、感謝状と記念品を贈呈させて頂きました。

そしてご出席各社のご代表として、株式会社石蔵商店
石蔵社長様より謝辞を頂きました。

また、特別表彰の各賞につきましても、2009年度
弊社の営業政策の展開と売上の向上に最も顕著な貢
献を頂いた販売店様に対し、感謝を含めて表彰させ
て頂きました。

このあと長尾事業部長より、2010年度普通はかり
事業部方針を下記の通り発表致しました。

「計量作業である定量詰め、配合などの定量作業に
は従来の不定貫はかりが多く採用されており、不便な
使い方をしている。また、定量作業専用のハカリでは
無いため能力・精度は悪くても仕方がないという既成
概念がある。現場作業の改善に繋がるハードおよび
ソフトを商品化し顧客メリットを追求することを基本
戦略として普通はかり事業を推進していく」

新商品展示コーナーでは、重点機種種のDP/UDS/
TDWの商品展示を行い①不足数量表示機能、②減算式
外付けハカリ付き組合せはかり等の新しい商品コン
セプトを搭載した機器の実演を行い、作業改善による
顧客メリットの説明を行いました。また産機・自動機器

商品では革新技術による次世代計量器による新たな
ビジネスを事例交えて展示発表致しました。

研修会の後、北野クラブSola内のディナーショー
会場において、皆様の日頃のご愛顧に感謝する懇親会
を開催致しました。

会場では、Yamato Music Festival Vol.10と
題し、JAZZBAND/オペラに加えて、川西副社長を含む
Yamato 社員バンドのサプライズ演奏を行い、大変な
盛り上がりの内に終わりました。

翌2日は、ゴルフ組と観光組に分かれ、ゴルフは名門
コース“広野ゴルフ倶楽部”でのプレーを、観光は淡路島
に渡り大塚国際美術館ではオリジナル原寸大の陶板
で再現された西洋名画を鑑賞の後、大鳴門橋の橋桁内
(渦の道)を散策し、昼食会場の「うめ丸」にてお互いの
親睦を深めて頂きました。

2日間にわたる研修会・懇親会・観光を無事終了
することができましたことは、ご参加頂きました皆様
のご協力の賜と深く感謝致しております。





(社)日本計量機器工業連合会の主催による第24回国際計量計測展(INTERMEASURE 2010)が「地球を、未来を、技術で“はかる”」をテーマに、国内メーカーはもとより、海外からも最新技術を携えて、11月24日～26日の3日間、東京国際展示場にて開催され、国内外から約3万人の総入場者を数えました。

主催者による企画展示コーナーでは「未来社会をつくる計量計測技術」として、社会生活・産業活動・研究開発等々、多方面で計量計測機器が活躍し、重要な役割を担ってゆくことが紹介されました。**Yamato**の小間については、東5ホール/M-74に位置し、世界No.1商品を展示致しました。

産機商品展示

発売当初よりユーザの皆様からご好評を頂いている“次世代形トラックスケール”展示では、ETCシステムとの連動、無停止計量による計測時間の大幅な短縮をダミー模型を使いご紹介致しました。“スクリーコンベヤスケール”展示では、正確な搬送計量が可能となったことをダミー模型にて実演致しました。



自動機器商品展示

世界最速スピードであり、環境重視商品である**Dataweigh**  **SIGMA F1-Frontier**の特長を大形モニターで判りやすく画面表示しました。さらに「扱いやすさ」「環境に優しく」「経済メリット」をコンセプトとした、金属検出機付オートチェッカ CSE22LM-MFOを出展致しました。



普通はかり商品展示

卓上形データウェイ“TDW-2102WP”では組合せ個数の多い場合に効率良く作業ができる卓上形デジタル台はかりを無線接続したシステムを展示致しました。定量・ランク選別コーナーでは、アナログ感覚で“あといくつ”機能のデジタル台はかり、抜き取るだけでランク選別が簡単にできる“減算式ランク選別機能”をそれぞれ展示致しました。



今回当社ブースには300名を超えるお客様にご来場頂き、ご多用のりご来場頂いたお客様には深く感謝申しあげる次第です。また、運営にご協力頂きました関係各位には書面を借りてお礼申し上げます。

Pack Expo 2010

2010年10月31日～11月3日までの4日間、アメリカ・イリノイ州シカゴ(McCormick Place)において「Pack Expo 2010」が開催され、当社からは米国子会社であるYamato Scale Corporationを通じて出展を実施し、**Yamato**ブランドのPRを行いました。

Pack Expoは、ラスベガスとシカゴにおいて毎年交互に開催されている包装関連の機械工業展であり、米国国内外の企業が出展し、来場者数は毎年6万名以上を数える米国で最も大きな包装関連機械工業展の一つです。

世界経済が米国の成長鈍化の動きと欧州諸国の財政問題で不確実性が增大している中、今年度の出展社数は前回開催時の2008年度よりも増加し、1,835社(2008年度は約1,703社)、来場者数は前回から3,000名ほど減少の約64,650名に留まったものの、当社ブースには予想以上に多くの来場者に足を運んでいただき、にぎわいを見せておりました。

当社ブースでは、新しいデータウェイオメガシリーズをはじめ、シュレッドチーズを1分間あたり180回計量可能な高サニテーション仕様の3点同時排出

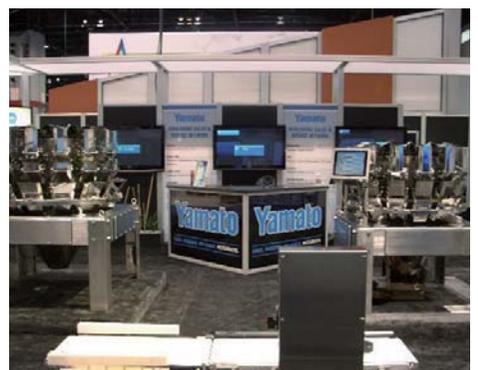
Dataweigh  **SIGMA F1-Frontier ADW-F524SW-3A**等を展示し、例年よりも多くの来場者に足を運んでいただきました。既に当社商品をお使いのユーザー様だけでなく、大和製衡に興味を持っておられるお客様など、たいへん多くの方々に食品生産ラインにおける様々なご要望に応じた革新的なデータウェイの特長をご理解頂き、また展示機器や映像を通じて組合せはかりの最新技術を体感いただくことができました。

本展示会では「Innovation in motion」をキャッチコピーに掲げ、「積極的かつ継続的革新」の思想から誕生した新商品データウェイオメガシリーズと共に、革新し続ける大和製衡をあらためてPRすることができたと感じております。「お客様から満足される製品を提供する」ことで、アメリカだけにとどまらず全世界に向けて信頼できる**Yamato**ブランドを提供し、お客様へのより最適なシステム提案に努めて参りたいと願っております。



PACKAGING.
PROCESSING.
**ONE
POWERFUL
SHOW.**

October 31-November 3, 2010
McCormick Place
Chicago, Illinois USA



多機能形デジタル台はかり DP-5600シリーズ

従来の計量器の常識を超えた新たな機能を標準搭載した次世代形台はかり。防水・防塵性能IP66基準をクリアし、バックライト付きフルドットLCDを搭載した新形指示計は充填・配合作業に適した定量機能や制御機能を更に強化、あらゆるシステムに対応できる多機能形デジタル台はかりです。



特長

① チェッカ機能 (DP-5602)

検品作業や定量詰め作業時に、「軽量」・「適量」・「過量」を3色(赤、青、黄)のLEDランプにより過不足が視覚的に判別できますので、作業効率が飛躍的に向上します。

② ジャスト計量機能 (DP-5602)

バックライト付きフルドットLCDの採用により、英数文字表示とアナログバー表示が可能となりました。また、定量計量に適した機能として「適量まであと〇〇kg(あと何個)」と表示ができます。計量ミスの防止と作業負担の軽減により作業効率UPに繋がります。



③ ランク選別機能 (DP-5602)

「加算式」と「減算式」の2つの重量ランク選別方法を搭載しました。品物に応じて使い分けることにより正確でスピーディーな選別作業が実現できます。オプションにて音声出力にも対応可能です。



充実した機能を持つ指示計

DP-5602 マルチ計量タイプ



便利な多機能モデルです。質量または個数をブザーと3色LEDランプによって上下限判別するチェッカ機能をはじめとして、定量計量のためのジャスト計量機能、農産物などの重量選別に便利なランク選別機能、風袋が一目で確認できる総量/正味量表示など用途に合わせた計量を実現できます。また、自動充填等の制御用としての機能も充実しています。

DP-5601 標準タイプ(質量表示のみ)



一般的な計量を目的とした汎用モデルです。風袋引は「ワンタッチ式」と「置数式」に対応しています。(DP-5604以外共通)

DP-5604 料金はかりタイプ



単価設定により値段を表示する料金演算機能搭載モデルです。値段、質量、単価の表示だけでなく、風袋量や、合計した回数、合計金額の表示もでき、水産・農産市場での安心な取引が実現できます。

DP-5605 水引機能タイプ



鮮魚や枝肉、冷凍品などの取引には欠かせないモデルです。設定された水引率により水分補正した質量を表示します。

DP-5609 産廃計量タイプ



産業廃棄物の計量に最適なモデルです。風袋(台車等)込みの計量と風袋(台車等)のみの計量を行うことで、正味重量を計算値で表示します。車番入力、オプションでRFID入力も可能で、簡易的に2回計量を行うことができます。

組合せ自由自在の計量部

BW-302 SERIES

●卓上形から特大形まで22種類を標準化 ●一体形、分離スタンドタイプなど用途に合わせた使用が可能



不足数量表示機能 DP-5602



普通
はかり
事業部

従来のオーバーアンダー機能(チェッカ機能)は、「載せた物の過不足量が判り定量詰め作業の改善できる」という既成概念があります。しかし、実際には多いか少ないかが判るだけで、使用者は過不足量を頭で計算しなければならないという問題点がありました。定量詰め作業では過不足量を合わせるのに何度も載せ降ろし作業を行っているのが現状であり、そこに作業効率の低下が発生していました。つまり、あと何gという調整しろの作業量が判らないのです。それを解決するのが不足数量表示機能です。

はかりに定量詰めする商品(被計量物)の作業単位(1作業単位あたり何g)と記憶させ、ターゲット質量の上限値と下限値を設定し定量詰めを行えば、「メイン表示に正味質量(kg)、サブ表示に不足数量(あとどれだけの作業)」が同時に表示されます。

あと何gも便利だが、あと「いくら作業しなさい」と表示されれば、もっと判りやすい。

以前は何度か載せ降ろしをして微調整していましたが、たった**1回の微調整**で作業が完了します。

提案事例

お客様業種 水産加工会社

現状問題点 むきエビの定量詰めを行うために、大量にむきエビが入った容器から表示を見てあといくらか計算しながら手作業で筥に盛り付けている。

あと何gが足りない(多い)時の微調整で追加したり取り除いたり面倒



このようなユーザー様に

DP-5602
「不足数量表示機能」
をご提案

正味質量 **94g**

下限値 **100g** 上限値 **110g**

適量まであと +3尾

※1尾あたり 2.5gと設定

あと3尾



メリット

- あと何個が一目で判る。
- 計算ミスによる誤計量の防止。
- 作業効率(スピード)UP...従来作業時間の約30%削減。
- 作業員の時給にして150円コストダウン
(テストマーケティング実績)

データウェイオメガシリーズ Dataweigh Ω™

INNOVATION IN MOTION

組合せはかりの分野において世界をリードする大和製衡の革新的な技術を搭載したデータウェイオメガシリーズは、「生産性」「操作性」「メンテナンス性」「食の安全性」の向上、そして「環境対応」の面で大きなメリットを提供する、全く新しい組合せはかりです。

データウェイオメガシリーズは高速で高精度計量を実現するために、革新的な技術を用い計量系を一新いたしました。

従来機種や他社を凌ぐ最高速度1分間当たり200計量以上を実現した高速計量は、同じ生産時間でも生産量を増加させ生産性向上に大きく貢献します。また生産性の向上により、従来2ラインあったラインを1ラインに縮小することで、設備投資、工場ラインスペース、人件費などの半減を期待できます。

また、各種センサーからのフィードバックコントロールによるオートチューニング機能は、「能力」「目標重量」を設定し、「ただスタートボタンを押すだけ」でプロダクトにあわせた最適な運転を自動で行います。

誰でも最適な運転を行え、また自由に「能力」「容量」を変更することができ、少量多品種の生産に大きな

メリットとなります。また、各設定値が常に最適制御されることで、プロダクトの性状や供給量の変化などにより「知らないうちに組合せ重量がばらついてきた」「計量速度が低下してきた」などのリスクを回避することができ、最適で安定した生産を確保します。

さらに「食の安全」への関心が高まる中、大和製衡は、食に対する安全対策も強化し、お客様の社会的責任と信頼を守ります。

IP67の本体は、丸ごと洗浄が可能で、製品カスの滞留やバクテリア繁殖の可能性を完全に排除します。

製品カスの蓄積やバクテリアの繁殖する隙間が全く無い特殊接合されたバケツは、厳しい衛生管理が必要となる食品業界に適しています。

製品の安全と安心を確実に消費者へお届けする

Yamatoのデータウェイオメガシリーズは、優れた操作性で、高機能・高効率を実現し、お客様の生産性向上、利益向上に大きく貢献いたします。



トピックス Yamato Scale Benelux (ベネルクス) 設立



Yamato Scale Beneluxは、弊社海外子会社であるYamato Scale GmbH(ドイツ)の新しい販売・サービス拠点として2010年9月にオランダ南部ティルブルフ市に設立されました。

ベネルクス(Benelux)は、ベルギー、オランダ、ルクセンブルクの3か国の集合を指し、周辺の国に比べて国土が狭いという特徴があり、3か国は大国に対抗するために緊密な経済協力を行っています。

新しい拠点の代表に就任されたWalter ten Bruggencate Directorは、Yamato Scale Beneluxの基盤作りに熱意を持って取り組んでいます。

「ベネルクス地域での直接販売やサービスの拠点と

して、我々は顧客に対し有効なソリューションや洗練されたサービスを迅速に提供します。既存の顧客だけでなく将来に顧客となるユーザーと生産性の高い密接な協力関係を築くことができると期待しています。」この新しい進展は、お客様の利益に寄与するだけでなく、大和製衡がベネルクス市場でのリーダーシップをとり、更なる食品業界の発展に貢献できるものと考えております。



信頼・技術・創造
大和製衡株式会社

URL : <http://www.yamato-scale.co.jp/>

本社営業 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
 普通はかり営業課 〒673-8688 兵庫県明石市茶園場町5番22号
 東日本支店 〒105-0013 東京都港区浜松町1丁目22番5号
 中日本支店 〒460-0008 名古屋市中区栄5丁目27番14号
 千葉営業所 〒264-0025 千葉県若葉区都賀4丁目8番18号
 九州営業所 〒812-0018 福岡市博多区住吉4丁目3番2号

TEL.078-918-5555
 TEL.078-918-6540
 TEL.03-5776-3121 浜松町センタービル4階
 TEL.052-238-5730 朝日生命名古屋栄ビル5階
 TEL.043-214-3920 ショー・エム都賀1階
 TEL.092-471-1921 博多イトビル1階



本カタログは環境に配慮し、植物油インキを使用しています。